



謹賀

新年のご

対馬市長 比田勝 尚喜

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

また、日頃より市政に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、世界に未曾有の事態をもたらした新型コロナウイルス感染症につきましては、5月に感染症法上の位置づけが5類感染症に移行となりました。実に3年余り、私たちの生活に多大な影響を及ぼしたわけですが、5類移行後は制限を設けない形でイベントが開催されるなど、市内に活気と賑わいが戻ってきたことを大変うれしく感じております。これまでの間、皆様には感染拡大防止にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。これから社会経済活動がますます活発になるものと思われまふ。市としましても、対馬の更なる発展に向けて知恵を絞り取り組んでまいり所存でございます。

昨年は、本市出身であります将棋の佐々木大地棋士のダブルタイトル戦挑戦や、対馬高校陸上競技部の勝見風李さんが全国高校総体において女子やり投げ4位という輝かしい成績を収められるなど、若者の活躍に目を見張るものがありました。対馬で生まれ育った若者の活躍を耳にすることは勇気づけられますし、とても喜ばしい限りです。そのような中、本市では、対馬3高校魅力化推進事業の一環として今年度からスポーツ指導者を招聘し、トレーニング指導や出前授業などに取り組んでいただき、島内高校の魅力化を図っております。今後も、部活動の強化やスポーツの普及振興を図り、島内進学率の向上や人口減の抑制につなげていきたいと考えております。

市内の動きに目を向けますと、多くの方々の関心を集めました高レベル放射性廃棄物最終処分に係る文献調査の受け入れ問題があり、最終的に市長として、対馬市の将来に向けた安心、安全な事業であるかを重点的に熟慮した結果、文献調査を受け入れないとの苦渋の判断をいたしました。市民、関係者の皆様にはご理解をお願いするとともに、

行政としましても、今後、市民が一体となって対馬市を支えていくような施策を講じていかなければならないと考えております。

また、2012年に観音寺から盗まれた仏像をめぐる裁判では、昨年10月に韓国最高裁において、仏像の所有権は観音寺にあると認める判決が言い渡されました。長期化した裁判とはなりましたが、待ち望んでおりました正当な判決であったことは大変うれしく、関係者の皆様も心から安堵されたことと存じます。今後は、一日も早く所有者のもとに仏像が戻ってくるよう、関係機関との調整を進めてまいります。

本年は、対馬市が平成16年に誕生してから20周年を迎えます。これまで本市の発展のためにご尽力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。市では、この節目の年を、市民の皆様とお祝いし、これまでの対馬市の歩みを振り返り、さらなる飛躍に向けて歩み出すきっかけとするため、令和6年度に記念式典や記念事業の実施を予定しております。20年という節目を迎え、先人が築いてこられたこれまでの歴史を未来へ継承するとともに、対馬の魅力や再認識し、誇りと愛着が深まるような事業を展開してまいります。

引き続き、市民協働・市民主体のまちづくりを進め「みんなが主役になる希望の島」「地域経済が潤い続ける島」「支え合いで自立した島」「自然と暮らしが共存する島」という4つの将来像の実現と「自立と循環の宝の島 対馬」を目指して、全身全霊をもって市政運営に邁進してまいりますので、本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様方にとりまして、活力に溢れ、笑顔が輝く素晴らしい年になりますよう心から祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

新年

あいさつ



対馬市議会議長 初村 久藏

新年あけましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、ご健勝で希望に満ちた新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお喜び申し上げます。令和6年の年頭にあたり市議会を代表いたしまして、ここに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

2023年を振り返ってみますと、大リーグ大谷翔平選手の日本人初のホームラン王とリーグMVP受賞、将棋界では藤井聡太さんの前人未到の八冠達成もさることながら、対馬出身の佐々木大地7段の棋聖戦、王位戦のタイトル挑戦は大変誇らしく思いました。日本球界では、新語・流行語大賞にも選出された「アレ」、阪神タイガースの38年ぶりの日本一などが鮮明に思い出されます。

また、2020年から全世界で猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の5類への移行により、コロナ禍の非日常生活から日常生活への転換の年となりました。加えてウクライナ情勢などによる世界的物流の混乱や原油価格高騰、円安などにより、食料品価格などの値上げのニュースが連日のように報道され、私たち消費者の家計に今もなお大きな影響を与え続けています。そういった大きな時代の変化の一方で、気候変動の影響による記録的な猛暑の夏を経験した1年でもありました。

本市では、対馬-釜山間の国際航路が再開され、市内各所で多くの韓国人観光客の姿を見かけるようになり、コロナ禍で中止となっていた国境マラソンIN対馬、対馬巖原港まつりなどの大きなイベントなども開催され、ポストコロナへの変化を実感したところであります。

また、高レベル放射性廃棄物最終処分に係る文献調査受け入れに関する請願審査については、対馬市民はもとより全国から対馬市議会への注目を集め、多くの市民を巻き込んだ論争となりました。最終的には、比田勝市長が「文献調査を受け入れ

ない」との重い決断に至りましたが、今回の論争を一刻も早く解消し、市民・行政・議会が対馬市の将来に向けて一致団結することを強く願うものであります。

一方で、私たち議会自身も変わっていかねばならないということは言うまでもありません。市議会では、令和5年第3回定例会において議員定数調査特別委員会を設置し、議員定数についての調査、研究に取り組んでおり、市民の皆様からのアンケートなどのご意見を伺いながら、次期改選期の議員定数を決定してまいりたいと考えております。また、本市を含めた有人国境離島地域の航路・航空路運賃の低廉化などを実現している10年間の時限立法で成立した有人国境離島法についても、期限が残すところ3年余りとなるため、長崎県及び関係市町と連携し、国に対して有人国境離島法延長の要望活動を強く推進していく所存であります。

さて、本年3月には本市の舵取り役を決定する対馬市長選挙、4月には平成の大合併から20年目の節目となる市政20周年記念事業も予定されているところでありますが、急速に進む少子高齢化、過疎・人口減少対策、農林水産業の活性化対策、有害鳥獣の被害対策など、本市にとって待ったなしの課題が山積しております。

市議会といたしましても、これらの山積する課題などの解決に向けて、まちづくりの主役は市民の皆様であることを第一に考え、対馬市の将来像であります「自立と循環の宝の島 対馬」の実現と、誰一人取り残されることなく、いつまでも安心安全で住み続けられる島を目指して、議員一同、市民皆様の信頼と負託に応えられるよう、全身全霊で取り組んでまいります所存であります。

結びに、対馬市の輝かしい未来を願いつつ、皆様のご健勝とご繁栄と新しい年が穏やかな年となることを心からお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。